

会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和4年12月15日(木) 午後1時30分～午後2時30分
開催場所	南小学校 会議室
出席委員	宇野委員、澁谷委員、奥山委員、菅野委員、大橋委員、清水委員、佐藤委員、伊熊委員、遠藤委員、田原委員、松田委員、前田委員、川上委員、植田委員、小玉委員、佐藤委員、金川委員
欠席委員	なし
会議次第	(1)一言コメント (2)講演会の報告について (3)その他 (4)次回の開催について
主な意見等	(1)一言コメント (委員) ・前回の委員会で話題にしたインディアンサラダについて、市内で提供しているお店があるとフェイスブックの小金井掲示板に書いたところ、150件を超える「いいね」をいただいた。給食の思い出を記憶している方が沢山いることがわかった。 ・今日、給食室から漂ってくる匂いを嗅いで、子どもの頃を思い出した。栄養士の話聞いて、学校給食が目指していること、家庭で協力して欲しいことを分かち合うことが大事だと感じた。 ・栄養士の献立を作る苦労をわかっているが、その中で読書週間、世界の料理とかイベントを毎日のようにやっていて、ただでさえ大変なのにありがたいと思う。 ・自分の会社以外の方が作る給食を食べる機会というのが無いので、貴重な機会でありありがたい。なかなか給食で協力でき

ることは限られているが、子どもたちに喜んでもらえるようアイデアを絞りながらやっていきたいと思う。

・今日の給食、素材の味がしっかり出ていて、だしもきいていておいしかった。弊社が受託している学校の残滓率が低く、担任の先生だけでなく学校全体で取り組んでいただきありがたいと思う。子どもたちが、私たち位の年齢になったときに、給食がおいしかったと思ってもらえるような給食づくりをしていきたい。

・普段、巡回で味見として調理場でいただくことが多いが、本日のような児童生徒のような気持ちで給食をいただくことは、中学校卒業以来だった。黙食というのを実際に体験してみて、子どもたちは寂しい気持ちで食べているんだなと思った。

・イベント給食が数日だけなのかと思っていたが、毎日のようにイベント給食やっていて驚いた。作る側もイベントの内容を考えて作ることができるので、作る側も食べる側も楽しい給食になると思う。

・本日は、南小学校の給食室の皆さん、大変な思いをしながら作ってくださったと思う。減塩を考えながら、頭を悩ませて献立をたてているが、ただおいしいだけでなく楽しみながら食べることができれば幸せだと思う。

・感動した。給食の味だけでなく、献立や栄養士の話聞いて感動した。熱意をもって栄養士がやっていることを知らなかった。こんなにおいしい給食、ご飯を家庭でも作れるように頑張ろうと思う。

・調理員としては給食を試食する機会はなかなかないので、貴重な体験をさせていただいた。学校でもおいしい匂いを香らせて子どもたちにアピールし、お昼をワクワク迎えてもらえるように日々努力している。

・薄味でうま味があって、久しぶりにおいしいと思った。だし汁クイズ、普段だしを取り続けているのに、すごく難しく、もっともっと勉強しなくてはいけないと思った。

・小金井市の栄養士や調理員が、どういう思いで給食を作っているか、知らせるいい機会だと思い、南小の給食を紹介しつつ、作り手である小金井市がどういう思いでやっているかをお伝えした。現場の調理員と良好な関係を築くことが大事で、縁に恵まれていると思っている。

・他の事業者が作る給食を食べる機会はすごく貴重だった。南小学校のホームページは、給食と関連しているページが多く、給食に対して熱意を感じる。子どもたちの思い出につながるような給食を作っていきたい。

(2) 講演会の報告について
(事務局)

令和4年11月21日の月曜日に萌え木ホールにて、お茶の水女子大学教授、赤松先生を講師に迎え、「食べなさいだけじゃダメ 行動科学で変わる子どもの食習慣」という講演会を開催した。約40名の参加者があった。

(委員)

- ・行動科学からの食育は新しい視点でとても興味深く勉強になった。ナッジ理論ということ初めて知った。
- ・行動科学の話、すごくためになったが、それを実際にどうするかというところが課題だと思った。
- ・講演会は勿論勉強になったが、子どもが食べられない、食べさせたいという思いで参加されている方がおり、つらい思いをされているなと感じた。

(3)その他

(委員)

- ・オーガニック給食について提案させていただく。最近、アトピー、アレルギーの子どもが増えているが、福岡の保育園では、オーガニック給食をやったことによってアトピーが改善したという話がある。また、新潟県佐渡市では、1か月間、米を有機米に変えたところ、発達障害の子どもが穏やかになって、市長が保護者からお礼の手紙を受け取ったという話を聞いた。やれるところからやってみようということで、米や小麦(パン)、人参10kgからとか、例えば月1回とか1か月だけとか、いずれ子どもが行くであろう小金井市でもできればオーガニック給食をやれたらいいと思っている。小金井市の中で有機で作ってくれるところが無いのが現状だが、農家さんをお願いするとか、できるところから小金井市でもオーガニック給食をやれたらいいと思っている。
- ・オーガニック給食について、国の後押しがあると思うが、何か使える制度はあるか。
- ・農林水産省は、2050年までに有機農業栽培面積を25%にするということを目指している。その中で給食は安定的な調達先として考えている。また、オーガニックビレッジという支援事業に小金井市として手をあげると、給食に使えるお金ができる。

(会長)

意見という整理とする。

(4)次回の開催について

(事務局)

次回の開催日程は未定、決まり次第連絡する。この後の農家見学については、午後3時から大澤農園さんを見学させていただく。交通機関の無い方は、事務局まで申し出を。

決定事項	(1)なし
次回の開催	(1)未定